

教育奨励賞



萩谷 英大

略 歴

平成20年4月 岡山大学病院医学部・歯学部附属病院 初期研修医
平成21年4月 津山中央病院 初期研修医
平成22年4月 津山中央病院 救命救急センター 常勤医師
平成25年4月 岡山大学病院総合内科 医員
平成26年12月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 助教
平成27年4月 大阪大学医学部附属病院 感染制御部 医員
平成27年5月 大阪大学医学部附属病院 感染制御部 助教
平成30年4月 大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学 助教
平成31年4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
瀬戸内（まるがめ）総合診療医学講座 准教授

研究論文内容要旨

日本では臨床感染症分野における卒前・卒後教育が不十分であることが長年指摘されてきた。臨床感染症の考え方を身につけるためには、まず基礎的な側面で微生物学（細菌学・ウイルス学・寄生虫学）や薬理学に精通する必要がある。加えて、疾患が多臓器にまたがることから臓器別講義の中で体系的に学ぶことが難しい分野である。しかし、昨今の薬剤耐性菌の世界的脅威により感染症教育の充実が急務であることを鑑み、学生・若手医師・多職種への感染症教育に精力的に従事してきた。

2014年10月に「臨床感染症インテンシブコース」（全12回：GIMセンター後援）を開講した。好評のため、本コースは2015年に他施設へ異動となった後も年2-3回のペースで継続開催した。2016年からは岡山大学医学部医学科4回生を対象とした学部講義「感染症ことはじめ」、公衆衛生学大学院講義で「渡航医学」を担当した。

2019年5月からは地域医療現場に向けたライブ配信型の感染症レクチャーとして「おかやまID-Gym」（毎月開催）をスタートし、常時10施設以上（岡山県内のみならず香川・広島・山口の医療機関含む）の参加で延べ聴講人数は1,000名を超えた。今後は、CMA-OKAYAMA（岡山医療連携推進協議会）の活動とタイアップして、感染症教育の視点から、岡山市内における持続可能な医療連携プラットフォームの構築に貢献していく所存である。

さらに、岡山県内の地域医療現場での感染対策知識を強化・普及する目的で、地域医療人材育成講座および地域保健所後援のもと出張講義形式で「地域感染症セミナー」を開催した（真庭・高梁地域）。

その他、岡山大学病院の初期研修医対象の感染症モーニングレクチャー、正しい感染症診療を身につけるための非公式団体（O-CAST: Okayama Consortium for Antimicrobial Stewardship Task Force）を立ち上げ、感染症診療のボトムアップに積極的に取り組んでいる。